

ふるさとさとつま応援基金 条例の制定

ふるさとに愛着の持てる魅力あふれるまちづくりを推進することを目的として、制定されました。現在、ふるさとさとつま応援寄附金の要綱を定め、各事業を進めており、町民の生きがいづくりに関する事業等4項目を応援寄附金のパンフレットに掲げて募集を行っています。

ふるさとさとつま応援寄附金の要綱を定め、活用方法については、有識者等を含めての検討や、今後の方向付けが必要になることから検討を行っていくとのことです。

介護保険条例の一部改正

第4期介護保険事業計画の策定により、介護保険料については、平成21年度から平成23年度において段階的に保険料の変更が行われることになりました。

化が行われ、負担の軽減が図られています。

(年額)

区分	20年度	21年度
1段階	22,800円	23,940円
2段階	22,800円	23,940円
3段階	34,200円	35,910円
4段階	45,600円	42,134円 47,880円
5段階	57,000円	59,850円
6段階	68,400円	71,820円

農業集落排水事業施設等 維持補修基金条例の制定

現在、佐志・時吉地区に整備されている農業集落排水施設事業施設等の維持補修に充てるため制定されました。

施設の維持補修については、200万円を超える修繕は補助金もあることから、主に200万円以下の修繕に対して基金が活用されます。



農業集落排水処理施設（時吉地区）

災害復興基金条例の制定

大規模な地震や風水害等による復興対策や予防対策等を円滑に推進することを目的として制定されました。

基金の積立予定額については、激特事業で国等に譲渡中である用地代金を原資に、年次的に500万円程度の積み立てを予定しており、最終的には、2〜3億円程度が

積み立てられる予定です。



平成18年の豪雨災害

土地開発公社へ貸付金 3億円

※土地開発公社については、年々厳しい経営状況となってきたており、喫緊の課題となっています。

現在土地開発公社の土地保有原価は、平成20年度末で7億331万2000円となり、今回公社への貸付を行わない場合の土地保有原価は、7億1491万7000円で利息分が1160万5000円となり、この利息分が土地代に上乘せされるため、今後の土地分譲に支障を来すことが懸念されています。

今回、町から3億円を貸付することにより、利息を495万円減少することが見込めることから、公社に対して3億円貸し付けることになりました。

なお、この3億円については、一般会計の歳計

金の運用の中で貸し付けるものであり、年度内には、必ず返済されるものです。

※土地開発公社
公共用地などの取得、管理、処分などを行うことにより、地域の秩序ある整備と町民福祉の増進に寄与することを目的に設立されたもの



分譲中の佐志ニュータウン